

教科名	国語科	週時間数	4 時間	学年	1 年
使用教科書 及び 副教材等	「国語1」(三省堂)、「中学書写一・二・三年」(光村図書)、学習漢字ノート1(浜島書店)、国語スイッチ(正進社)、つまずかない! 文法の学習(新学社)、学習の達成(新学社)				
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ことば(聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと、言語に対する知識・技能)に関心を持ち、日常の言語活動に活かす能力を身につけることをねらいとしています。 ことばで物事をとらえ、考え、そして表現する力を伸ばすことをねらいとしています。 題材を通して、自分の内面を見つめ、社会生活を豊かにすることをねらいとしています。 				
目指す姿	支え合う	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に対して、これまでの学習を想起しながら身に付けた知識や経験をもとに、自分の考えをもったり、それを言葉を使って(言葉の意味、働きなどを考えて)伝えたりする姿。 ○グループ活動などを通じて、自分の考えを他者に伝えるときにも、他者の考えを受け入れ、相違点や共通点について考えようとする姿。 			
	高め合う	<ul style="list-style-type: none"> ○課題解決に向けて、自分の考えと他者の考えを比較したり推論したりする中で、新しい考えに気付くことができる。 ○話し合い活動などを通じて気付いたことをもとに、自分の考えを見直したり新しい考えをもったりすることができる(それを言葉を使って話したり書いたりすることができる)。 			
学習の進め方	<p>【学習への取り組む姿勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題に対して自発的に考えたり、ノートやプリントなどを工夫してまとめたりしながら、進んで授業に取り組ましましょう。 ○話しことばや書きことばを理解し、場面に応じた使い方ができるようになるとともに、円滑な交流の仕方を身に付けましょう。 ○様々な体験、事実、意見を正しく伝えるために、豊富な語彙を身に付け、ことばで表現できる力を身に付けましょう。 <p>【家庭学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書を音読し、意味のわからないことばは辞書で調べ、用い方を知った上で短文を作るなど理解を深めましょう。 ○漢字は形、書き順、読み方、意味を覚え、正しく使えるようにしましょう。 ○日ごろから読書に親しみ、知識を広げ、言葉の感性を磨きましょう。 <p>【端末の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○語句の意味や漢字、文法など、ミライシード(ドリルパーク)を使って繰り返し学習しましょう。 ○目的に応じて情報を調べたり収集したりしながら、自分の考えを整理しましょう。 				
定期テスト	出題方針	・観点別評価の「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」を中心に問題を作成し、出題します。			
	範囲 (予定)	1学期中間	「朝のリレー」、「竜」、「文法」(文章・段落・文・文節・単語)、漢字		
		1学期期末	「ペンギンの防寒着」、「クジラの飲み水」、「漢字のしくみ」、漢字		
		2学期中間	「空中ブランコ乗りのキキ」、「字のない葉書」、「文法」(文の成分)(連文節)、漢字		
		2学期期末	「玄関扉」、「竹取物語」、「故事成語 矛盾」、「漢字の音と訓」、「文法」(指示語)、書写(楷書の書き方)、漢字		
学年末	「トロッコ」、「少年の日の思い出」、「文法」(自立語・付属語・活用・品詞)、表現技法、漢字				
評価方法	観点	評価の方法	評価について		
	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決への取り組み ・グループでの取り組み発表時の様子や成果物 ・プリント等の記入状況 ・定期テスト、小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解している。 ・テストの「知識・技能」に関する問題を80%以上解答できている。 		
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決への取り組み ・グループでの取り組み発表時の様子や成果物 ・プリント等の記入状況 ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしていく。 ・テストの「思考・判断・表現」に関する問題を80%以上解答できている。 		
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・プリント等の記入状況 ・振り返り活動への取り組み(シートの記入状況など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉を通じて、積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしている。 			